

アンケート回答まとめ(第2回)

19名

(初等理科1年1名、3年3名、4年1名、
中等理科2年5名、3年2名、
環境2年2名、4年3名、
教職大学院2名)

2012年12月6日(木)

2(1)放射線や放射能に関して知っていること

線、線、線、自然放射線、宇宙放射線 等 量が多いと人体に害がある
線、線、人体に悪影響を及ぼす

放射能は放射線を出す能力を示すものであって、放射能というものはない。放射線は種類によって性質などがさまざまであること。

放射線が生じるときには原子の壊変などがおこっており、幾つか放射線にも種類があること。放射能は放射線を出す能力のようなもの

体によいものではない。線など種類がある。"

線、線、線

(放射線は)体に悪い、(放射能は)放射線を出す能力

放射線を出す能力 = 放射能

線、線、線、中性子線等があり、原子力発電で出ているのが中性子線である。確率論的な話であること。

人体に悪影響を及ぼす

線・・・、線・・・、線・・・

壊変、壊変、遷移について、ほうれんそうなどにも含まれていること。ベクレルが放射能自体の力の大きさ、SVが人間の身体に与える影響であること。

ベクレル・・・1秒間あたりの放射線量

シーベルト・・・人体の放射線影響度

生体の被ばくによる影響のことをシーベルトという

普段の生活においても私たちは放射能を浴びている

・、線がある。

- ・霧箱で秘跡を観察できる。
- ・自然界にも存在している。
- ・平成24年発行の教科書(中学理科)から内容が復活した。
- ・リスクとベネフィット"

危害範囲は広く、危害時間が長い、影響を深い(ママ)

、線など種類がある。普通に生活していても、放射線は少ないけど受けている。

放射線は人間の身の回りのあらゆるものにあり(食べ物、海藻など)それを摂取して生きている。ある程度の量は必要だが、一定値をこえると、体に害が及ぶ。

生物にとって、過剰に浴びるということは危険であるということ。

自然界にも存在しているということ。"

2(2) エネルギー問題や原子力問題で知っていること

福島第一原発の事故、日本の原子力発電の技術は進んでいる

繰り返し資源を使うことができるが、事故があったさい大きな問題になる

原子力では多くのエネルギーなどを得ることができる反面、危険も伴う

効率のよいエネルギーを作る仕組みは原子力発電だが、危険な面も併せ持っているということ

日本は原子力が 1/4 ほどを占めている。取り扱いを誤ると被爆(ママ)の恐れがある

福知山原発事故(ママ)、チェルノブイリ原発事故

必要だと思っている人が多いが、自分の住む所にはあってほしくないと思っている事が多い。

環境とのつながり、危険度

原子力発電は CO2 を発生しない反面、安全管理が難しいこと。代替のクリーンエネルギーが原発に当たるほどの力をもっていないこと。

地球温暖化等からむ エネルギー枯渇 新エネルギー開発

すでに原子力に次ぐ新たなエネルギーは見つかっていて日本近海に多く存在している。

原子力はエネルギーの一つである。原子力の安全性は確保できない。エネルギー源として有限エネルギーが
あって、有限エネルギーの量はどんどん減りつつあって、将来に対して、エネルギーは足りない。

デンマークは、国の特徴を生かして、原子力ではなく、風力発電をエネルギー源としている。その理由として、人件費やその他の金銭的な課題が挙げられたが、安全面も同時に懸念されたからだ。日本では、震災後、原子力発電所を休止し、現在は安定な状態に保たれている。

- ・日本には 50 基を超す量の(ママ)原子炉がある(九州には、川内、玄海に 2 ヵ所ある)
- ・30 年以内には無くなる方向であること。(政治的に)

2(3) 原子力発電について

- ・利用すべき 8 名
- ・利用すべきでない 3 名
- ・どちらとも言えない(含むわからない) 8 名

理由

利用すべき 8 名

- ・リスクは伴うが、得られるエネルギー量の面では最もすぐれており、これからの人間の進歩には欠かせないと考えるから
- ・原発に代わるものがない限りは利用すべきだと考える
- ・「利用すべきでない」はきれいごと
- ・実際問題としてやらないとまかないきれいな部分が多いから。
- ・原子力は今後のエネルギーとして、エネルギー問題を解決するものであるから
- ・不況の上に節電で企業活動の面においてもかなり大きな問題となるから今すぐ廃止しても原発自体は急に解体することもできず、今ある施設を使いだんだんと移行していくことが現実的であるから。
- ・すでに原子力に次ぐ新たなエネルギーは見つかっていて日本近海に多く存在している。

利用すべきでない 3 名

- ・事故が起こっても 100%安全だという保障(ママ)がないので・・・

- ・他の発電方法を考えて、エコに励むべきと思うから
- ・地球温暖化等からむ エネルギー枯渇 新エネルギー開発

どちらとも言えない 8名

- ・安全性の基準も難しいが、火力を使う量が増えることになったり、環境問題、経済問題等よく検討しなければならないと思うから
- ・安全面では多数問題があると思うが、管理体制を正しくすること。この先エネルギー源がなくなったとき、人が同じ生活をしようとするなら欠かせないと思うから
- ・原子力発電が危険なのは周知であるが、実際、日本の発電量の3割を担っているため
- ・今は代替的なエネルギーがないから
- ・原子力はエネルギーの一つである。原子力の安全性は確保できない。エネルギー源として有限資源があって、有限資源の量はどんどん減りつつあって、将来に対して、エネルギーは足りない。
- ・デンマークは、国の特徴を生かして、原子力ではなく、風力発電をエネルギー源としている。その理由として、人件費やその他の金銭的な課題が挙げられたが、安全面も同時に懸念されたからだ。日本では、震災後、原子力発電所を休止し、現在は安定な状態に保たれている。
- ・日本には50基を越す量の(ママ)原子炉がある(九州には、川内、玄海に2カ所ある)
- ・30年以内には無くなる方向であること。(政治的に)

3 学校教育の中で伝えるべき放射線に関する基礎知識

身近なものはどういったものか。どのような影響があるのか。

放射線はさまざまなものから出ていて、すべてが危険というわけではないということ

安全性について放射線の強さなどとの関係を知りたいです

身のまわりにも自然にある

具体的な被害、単位

放射線は、病気と違い感染したりしないということ

どの程度で危険か

放射線(身の回りにあるもの、野菜やタバコ、自然放射線など)

身近にも放射線は存在する。本当の恐ろしさを知るべき。

放射線の危険さを正しく知ることが必要だと思います。テレビでいきなり何シーベルト、何ベクレルと言われても一般の人はピンとこないのです。

放射線に関する内容を教える目的とは?

放射線は 線、線、線の総称である。日常生活で放射性を(ママ)受ける可能性があります。(病院のX線とか)X線1回受けたらどのくらいの放射能をもらうか?どのくらいの量がたまったら体に悪いのかを知りたい。

むやみにこわがらない。

放射線とは何か。

3 学校教育の中で伝えるべき原子力に関する基礎知識

リスクと効率性の両方の利点と欠点について

どこまで教えるべきか。(過度に恐がらせない、浅くなりすぎない)が知りたいです。

(原子力の)キケンな面

発電の仕組み

クリーンなエネルギーと言われていた事

コストと安全性

原子力のメリットとデメリット、子どもたちの調べ学習のように情報を共有していく内容

なぜ原子力に依存するのか

核反応のしくみを生み出すエネルギー量について

原子力は多量のエネルギーを持つこと。核融合と伴って大量のエネルギーを放出される。

原子力とはどういうもので、どんな役割があるか。

原子力の利用法、歴史(平和教育を含む)

3 学校教育の中で伝えるべき原子力発電所事故に関する基礎知識

事故の際、どのようなことが起こるのか、どのように対処したらいいのか正しい知識を。

なぜ、今回のようなことがおきてしまったのかや外国での原発のあり方についてなど

本当に安全なのかどうか知りたいです。

(原子力発電所事故について)円形に広がるわけではない、フーヨーひがいについて

被害の規模

安全と言われ続けた中で起きた事故である事

発電に何か使われていつか

きけん性

なぜ事故があぶないのか?どんな影響がでるのか?

どうしてそのようなことが起こったのか、どうすれば防げるか

どこがいけなかったのか、どう生かしていくのかについて。

原発事故について、どこまでふみこんで教えるか。

正確的に対応。体にどのぐらいの影響があるとか、ちゃんと伝えてほしいです。

なぜ事故は起こってしまったのか。(原因)その後の対応は良かったか。

被ばく者への差別の根絶。風評被害のウソ、ホント

3 学校教育の中で伝えるべき今後のエネルギーに関する基礎知識

化石燃料の限界と新しいエネルギーについて

どんなエネルギーが代替として拳がっているか知りたいです

(今後のエネルギーについて)日本にエネルギーはない。ユニュー

原子力にかわるようなエネルギー

今までのように使い続けると、足りなくなり、節電等の対策が勧められている事

環境に優しいエネルギー

電力を需給(ママ)できる方法、なぜよいわるいがあるのかということ

新エネルギーのメリットデメリット

環境問題と発電

今後のエネルギーに関して、やっぱり安全性、?限で使える、環境に悪くないエネルギーを目指します。

日本にとってよいエネルギーとは?

発電にはどんなものがあるか?世界的な動向について

4. 今回の対話に期待すること

放射線や放射能、原子力発電について少しでも詳しくなりたい

学校現場でどのような知識を児童に伝えればよいかという事

更なる知識の向上

原子力に人間が向き合うときに、何がこわくて何を利用できるかを公平な中立の立場で聞きたい。

正しい基礎知識の習得、幅広い見解

原子力発電はこのまま無くなるのか

福島の避難区域であった場所は本当に危険だったのか、遺伝子への影響はあるのかについて。

原子力や放射線に対して、怖さは減少したいと思います。

来年から学校現場に出るため、今後のエネルギーに関する教育の具体的な取り組みが話し合えることを期待します。

原子力に関する興味関心を高め、当事者意識をもてる対話にしたいです。